



子ども達の搾乳体験

道立総合研究機構畜産試験場(南橋沼場長) 公開デーが8月5日(同場内で開催され、町内外から300人を超える人が来場しました。試験場の施設や研究成果を紹介し、多くの人に畜産の世界を知ってもらおうと毎年開催されており、家族連れなどで賑わいました。搾乳体験や牛の心臓の音などを聞く獣医師体験、かわいい動物を作るバルーンアート、ひよこのふれあい広場は子どもを中心に大人気。北海道産牛肉と畜産試験場産豚肉の試食コーナーでは、開始前から列ができており、参加者からは、「おいしい」、「肉がやわらかい」などの感想が聞かれました。

畜産試験場公開デー 見て、触れて、食べて感じる



「だいすきしんとくく笑顔いっぱい みんなの土曜市場」(町農産物等直売会主催)が8月6日、農協駐車場で開催されました。晴天で気温が上昇する中、開店と同時に新鮮な朝採れ野菜を買い求め、お客さんが来場していました。この他にもパンやチーズ、かき氷などの販売、牧場ママによるプリンやゼリーの試食会が行われました。毎回、週替わりでイベントが開催され、この日はJA新得町青年部によるしんとくくバーガーの販売が行われました。今後は9月17日までの毎週土曜日、10時から13時まで開店しますので、訪れてみてはいかがでしょうか。

朝採れ野菜など地場産品が大集合 土曜市場9月17日まで毎週土曜日オープン



講演した計良院長

新得町地域医療講演会「健康で長生きできるコツ」くちよつとした運動と栄養の工夫がもたらす意外な効果とは? (町・新得クリニック主催)が8月27日、町公民館で開催され、町民ら約100人が参加しました。講演会では、とびなが薬局新得調剤センターの飛永慶造薬局長を座長として迎え、新得クリニックの計良基治院長から「健康寿命を伸ばす方法」、町保健福祉課健康推進係の木下紗恵子管理栄養士から「健康で長生きできる食事」について講演がありました。計良院長は「少しの運動習慣と低カロリー食で健康寿命は伸びる」、木下栄養士は「健康な生活を送るには主食・主菜・副菜が揃った食事が大切」と話し、参加者は運動と食事の大切さについてしっかりと心に留めたようでした。

健康で長生きできる コツを学ぶ 新得町地域医療講演会



歓迎式でそれぞれ自己紹介をする五ヶ瀬町の子どもたち

宮崎県五ヶ瀬町の少年少女使節団(宮越哲一団長ほか中学生5人、小学生10人、引率2人)の歓迎式が8月21日、町公民館で行われました。この交流は平成元年から2年に一度行われ、今年度で15回目。五ヶ瀬町の使節団は、8月19日から23日まで来道。新得町には21日から23日まで滞在し、施設見学や学校訪問をしたほか、一晚をホームステイ先で過ごしました。歓迎式では、使節団を代表し江藤紅葉さんが(五ヶ瀬中学3年)「短い期間だが、みんなともっと仲良くなりたい」と抱負を語っていました。

互いの伝統や文化を知り、末長く交流を 姉妹町の宮崎県五ヶ瀬町少年少女使節団18人が来町



左から横山副分会長、湯浅分会長、小笹副分会長

第49回十勝地区身障者スポーツ大会(7月29日、足寄町)に出場した十勝地区身体障害者福祉協会新得町分会の湯浅勇分会長、横山副分会長、小笹多美子副分会長が8月2日、町長室を訪れ、浜田正利町長に優勝報告をしました。管内14町村23人が参加した本大会には、新得町分会から16人が参加しました。湯浅分会長は「会員みんなの協力と、勝つんだという思いの強さで優勝できた。昨年は準優勝して、今年は優勝できて、とても幸せです」と話していました。

障がいのある方も 頑張っています 第49回十勝地区身障者スポーツ大会で優勝



愛澤さん(左)と沼澤くん

第38回全十勝小学生バドミントン大会兼第35回北海道小学生バドミントン大会十勝地区予選会(7月17日、音更町)に出場し、全道大会(8月27、28日、函館市)への出場権を獲得した富村牛小5年の沼澤拓哉くんと同小4年の愛澤琉衣さんが8月17日に役場を訪れ、武田芳秋教育長に全道大会での健闘を誓いました。共にシングルに出場する予定で、愛澤さんは「最後まで諦めないで、1点でも多く点数を取りにきたい」、また、沼澤くんは「負けても勝っても、悔いの残らないように頑張りたい」と意気込みを語りました。武田教育長は「両親や先生などに感謝しながら、日頃の練習の成果を発揮して頑張ってください」とエールを送りました。また、同大会にはダブルスで新得小4年の羽場康太くん、同小2年の池田壮佑くんペアも出場予定です。

頑張れ! 全力プレイ で一つでも上へ 富村牛小の2人が全道大会 出場報告



注文書を受け取る島津くん(中央)と佐藤くん

新得高等支援学校の生徒9人が8月29日、町長室を訪れ、浜田正利町長から注文書を受け取りました。これは、平成29年度小学校新入学生への入学のお祝い品を校内実習で製作する「さくらプロジェクト」の一環であり、町長から注文を受け、記念品を製作し、生徒から児童へ直接手渡されます。注文されたのは、木工科に「多目的ツール」(椅子や机になる製品)45個、家庭科に「クッション」45個で、それぞれ島津光翔くんと佐藤勝利くんが注文書を手渡され、島津くんが「心をこめて製品をお作りします」と決意を述べました。

小学新1年生へお祝 い品を製作 さくらプロジェクト



社会福祉法人厚生協会が設置した木育推進委員会(高木純一委員長)による「誕生日品贈呈事業」の贈呈式が8月30日、保健福祉センターで行われ、第一号となった菅屋陽太くん(母・桃子さん)ら4組の親子に木のあくりもの(おもちゃや食器)が贈呈されました。この取り組みは、子どもの頃から木に触れ、木の魅力を知ってもらうための取り組みで、委員会では、一月毎に贈呈を行う予定となっています。第一号となった菅屋さんは「率直にプレゼントはうれしい。自然のもので作られているので、子どもにも安心して使わせることができると笑顔で話していました。」

新生児へ木のおくり ものを贈呈 誕生日品贈呈事業がスタート